

基本計画（抜粋）

JR柏原駅南用地整備基本計画

民間事業者による初期段階の土地利用のイメージ



(参考) 基本構想(抜粋)

柏原交流ゾーン整備基本構想の概要

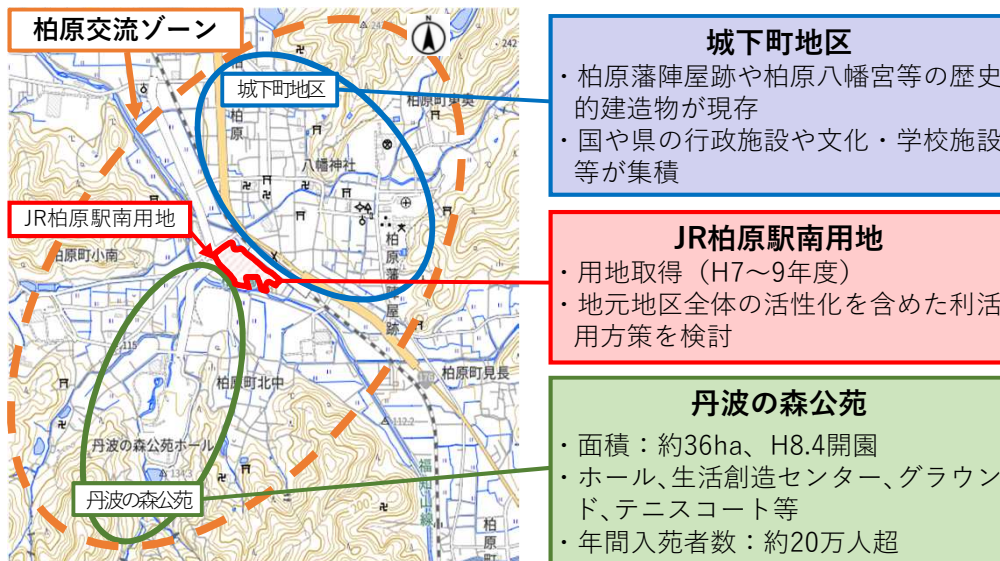
新たな暮らし方、働き方に対応した複合的な都市機能の創造を目指す

● 柏原交流ゾーン

- JR柏原駅南用地(約2.4ha)、丹波の森公園、城下町地区の3エリアで構成：総面積約100ha

《基本コンセプト》

「古くて懐かしくも、新しいまちKAIBARA」



柏原交流ゾーン構想検討会議メンバー

	所属・役職	氏名
学識者等	関西学院大学・教授	角野 幸博
	武庫川女子大学・特任教授	大坪 明
	関西大学・教授	岡 絵理子
	神戸大学大学院・准教授	栗山 尚子
	有限会社Lusie・代表	小泉 寛明
商業者	関西大学・教授	松下 慶太
	丹波市商工会・会長	篠倉 庸良
地域団体	丹波青年会議所・理事長	石川 毅
	(株)まちづくり柏原・代表取締役	岡林 利幸
地域住民	柏原自治会長会・会長	大野 亮祐
	柏原自治協議会・会長	大西 修太郎
	新井自治協議会・会長	谷垣 昌三
行政機関	丹波市・技監	上畑 文彦
	丹波県民局・局長	今井 良広

● JR柏原駅南用地《導入想定施設・プログラム等》

- ① 芝生広場
- ② 木のクラブハウス(交流スペース&デザイナーズホテル「木の迎賓館」)
- ③ 集合住宅・滞在型施設(木造中層建築物)
- ④ マイクロバウハウス(芸術工芸学校)
- ⑤ 木のハコ・オフィス(多目的ワークスペース)
- ⑥ モデルハウス(丹波型環境共生・健康住宅)
- ⑦ サロン・デ・デザイン(市民主体の学習交流サロン)
- ⑧ エキョコ(商業・物販・飲食施設)
- ⑨ シンボルタワー(木製展望台)
- ⑩ ミニ・トランジットモール(発着場)
- ⑪ スマートKAIBARA(Local 5G拠点)